

2023年度 学校推薦海外インターンシップ募集要項
国際開発救援財団（FIDR） カンボジア

※ 2つのプロジェクトのうち、どちらか1つのプロジェクトに参加していただきます。

申込書には希望する順位でプロジェクト名を選んでください。（第1希望のみでも可能。）

1. 概要

インターンシップ受入機関：公益財団法人 国際開発救援財団 (FIDR)

（事業内容：カンボジア等で開発援助を実施する NGO）

1) プロジェクト名：農村開発プロジェクト

研修場所：カンボジア国コンポンチュナン州

受入人数：1名

研修期間：**2023年8月21日（月）～9月30日（土）の間の最低4週間～最大6週間**

（具体的日程は受入先と要相談）

研修内容：農村開発プロジェクト

勤務時間：7:30am または 8:00am から 5:00pm （月曜～金曜）

対 象 者：原則として全学部・全学年

応募資格：

- （1）通訳なしで自分の意思を伝えられるレベルの英語力を有すること。
- （2）カンボジア語必須、日常的なコミュニケーションが図れるレベル。
- （3）農村との往来が多く、都市部から離れて現地の生活を楽しめるバイタリティがあること。
- （4）NGO、開発援助関連事業に関心があること。
- （5）受入機関でのルールを遵守し、現地で節度ある行動が出来ること。
- （6）本要項項目5.合格者によるその後の手続き（3）～（8）に記載の危機管理に関連する内容を理解のうえ、ワクチン接種や保険加入等を行えること。

2) プロジェクト名：小児外科支援プロジェクト

研修場所：カンボジア国クラチェ州

受入人数：1名

研修期間：**2023年8月21日（月）～9月29日（金）の間の最低4週間～最大6週間**

（具体的日程は受入先と要相談）

研修内容：小児外科支援プロジェクト

①患者デーのイベント企画・実施 ②外科入院患者に対する院内イベントの企画・実施

勤務時間：7:30am または 8:00am から 5:00pm （月曜～金曜）

対 象 者：原則として全学部・全学年

応募資格：

- （1）通訳なしで自分の意思を伝えられるレベルの英語力を有すること。（カンボジア語は必須ではない。）
- （2）農村との往来が多く、都市部から離れて現地の生活を楽しめるバイタリティがあること。
- （3）NGO、開発援助関連事業に関心があること。

- (4) 受入機関でのルールを遵守し、現地で節度ある行動が出来ること。
- (5) 本要項項目5.合格者によるその後の手続き(3)～(8)に記載の危機管理に関連する内容を理解のうえ、ワクチン接種や保険加入等を行えること。

2. 応募書類・提出方法

【書類】 申込書(様式はグローバル・キャリア・センターHPに掲載予定)

<http://www.tufs.ac.jp/student/careersupport/internship/>

【提出先】 グローバル・キャリア・センター(申込書をメール添付にて提出)

メールアドレス: cs@tufs.ac.jp

件名:【氏名】FIDR(カンボジア)インターンシップ応募書類

3. 募集期間 5月29日(月)17:00 まで

4. 選考

(1) 選考方法

参加申込書の内容、受入機関の定める条件等を勘案し書類選考および学内面接を実施。その後、FIDR 東京事務所にて面談を実施する予定。なお選考にあたっては、語学力(TOEIC等の点数等)も勘案する。

(2) 選考結果の連絡

選考結果は、応募者全員にメールにて 6月下旬頃までに連絡予定。

5. 合格者(インターン生)によるその後の手続き

～インターンシップ出発前～

- (1) 渡航スケジュール確認後、航空券、宿泊施設の手配
- (2) 入国査証取得に必要な書類等を準備
- (3) 狂犬病ワクチンの接種 ※3回のうち、少なくとも渡航前に2回接種
- (4) グローバル・キャリア・センターが指定するガイダンスや渡航前ミーティング等への参加
- (5) 学生教育研究災害傷害保険(学研災)及び学研災付帯賠償責任保険(学研賠)未加入の場合は必ず加入(学生課窓口にて確認)
- (6) 学研災付帯海外留学保険【付帯海学】への加入
上記(4)の学研災及び学研賠に加え、【付帯海学】に必ず加入する。加入方法等は参加決定後に連絡。
- (7) 「たびレジ」及び、渡航情報システム「ただいま海外留学中」への登録
<http://www.tufs.ac.jp/student/studyabroad/crisis/>
- (8) 「大学のプログラム以外による海外渡航に関する取り扱いについて」に記載されている書類等の提出、サービス等への加入
http://www.tufs.ac.jp/student/NEWS/study_abroad/220328_1.html
※危機管理サービス(OSSMA)への加入は任意となっていますが、本インターンシップに参加する場合は、加入を強く推奨します。
- (9) 「インターンシップ参加届」の提出
<http://www.tufs.ac.jp/student/careersupport/data/>

※航空券や入国査証(ビザ)取得等の渡航手続きは、ご自身で手配していただきます。宿泊先はFIDR様と相談しながら予約を進めていただきます。

～インターンシップ終了後～

(10) 実習報告書の作成・提出

A 4 用紙 5 枚 (4,000 字) 程度の報告書を、和文及び英文で作成、グローバル・キャリア・センターに提出。書式は自由、Word にて作成すること。提出締切日は別途連絡する。なお、報告書の提出がない場合、大学による経費助成は行わない。

6. 経費の助成

【大学より】

海外旅行保険料（加入必須）として 2 万円を助成する。

【受入れ企業より】

特になし

※上記海外旅行保険料以外のインターンシップに関わる費用はすべて自己負担となります。

7. 申込書の語学力欄について

インターン先では英語は必須であるため、必ず記入し証明書を添付すること。1 年次及び 2 年次の TOEIC-IP (ELC 実施) も記入可。

8. 応募書類に記載された個人情報の利用について

応募の際に提供した個人情報は、該当企業への提供と選考目的以外に使用することはありません。

但し、インターン生の氏名、性別、年齢等の情報を大学広報のため、学外機関（東京外語会、学生後援会他）に提供することがある点はご了承ください。

9. その他

- ・本事業の募集中あるいは渡航前に、戦争やテロ、自然災害、感染症等が発生した場合、実習を延期または中止することがある。インターン生として海外滞在中に同様の事態となった場合は、実習期間終了前であっても帰国の勧告を行うことがある。
- ・企業側の諸事情により、内容に変更が生じたり、事業が中止になることがある。なお、各国の危険情報については、各自外務省の海外安全ホームページを確認のこと。[\(http://www.anzen.mofa.go.jp/\)](http://www.anzen.mofa.go.jp/)
- ・万が一、予定のフライトに搭乗できなくなった場合、フライト変更や宿泊先確保等は各自での対応となる。また、それらに係る追加の費用は全て自己負担となるため、そのことも考慮し航空券手配を行うこと。

【注意事項】インターン生受入れには、関係企業・機関の方々の多大な労力とご協力が不可欠です。選考後の辞退は、関係企業・機関、他の応募者に大変な迷惑がかかります。選考後の辞退はしないでください。

以上